

2015年6月9日

ハイレゾ再生、4K映像に対応した Wi-Fi&Bluetooth®内蔵ネットワークAVレシーバー

ヤマハ AVレシーバー 『RX-V579』 『RX-V479』

ヤマハ株式会社は、ハイレゾ再生機能、4K映像に対応した Wi-Fi&Bluetooth®内蔵 7.1chネットワークAVレシーバー『RX-V579』、および5.1chネットワークAVレシーバー『RX-V479』をそれぞれ7月中旬から全国で発売いたします。

<価格と発売時期>

品名	モデル名	色	本体価格	当初月産予定台数	発売時期
AVレシーバー	RX-V579	(B)ブラック	72,000円(税抜)	8,000台	7月中旬
AVレシーバー	RX-V479	(B)ブラック	61,000円(税抜)	18,000台	7月中旬

<製品の概要>

今回発売する『RX-V579』『RX-V479』は、DSD*¹ 5.6MHz や AIFF*² 192kHz/24bit にも対応したハイレゾ再生機能、HDCP2.2*³と4K/60p*⁴に対応したHDMI端子、AAC対応Bluetooth®オーディオ機能などを搭載するとともに、全chディスプレイ構成パワーアンプや新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュール、さらにはバーチャル・サラウンドバックスピーカー技術(RX-V579)も新たに加えたシネマDSPの採用などにより、ヤマハならではの音の良さと立体的な臨場感をいっそう磨き上げたネットワークAVレシーバーです。もちろん、家庭内ネットワークへ無線LAN接続できるWi-Fi機能や、スマートフォン/タブレット向け専用アプリ「AV CONTROLLER」による快適操作にも引き続き対応。さらに、今後拡充が予定されるFM補完放送に対応したFMワイドバンド/AMチューナーもいち早く搭載しました。

*1:DSD(Direct Stream Digital)=SA-CDやハイレゾ音楽配信に用いられるデジタル音声フォーマット。本機では最大5.6MHzまでのDSD音声信号の再生に対応しています。*2:AIFF(Audio Interchange File Format)=アップル社が開発した非圧縮ニアPCM対応の音声ファイルフォーマット。Mac OSの標準音声ファイル形式のひとつ。*3:HDCP2.2=4K映像伝送に対応した最新のデジタル著作権保護技術。*4:4K/60p=(4,096×2,160画素)の解像度を持つ映像を、1秒間に60コマで表示すること。

【RX-V579 主な特長】

1. HDCP2.2、および4K/60p映像信号に対応した
6入力/1出力のHDMI端子
2. 新開発オリジナルコンデンサーなどの投入による高音質設計と、
最大9.1ch相当の臨場感を身近にする
独自のバーチャルサラウンド技術
3. DSD 5.6MHz、AIFF 192kHz/24bit再生に対応。新世代
ネットワークモジュールで音質も向上したハイレゾ再生機能
4. スマートフォンなどからワイヤレス再生できるBluetooth®オーディオ
機能を内蔵、専用に新開発したミュージックエンハンサーを搭載
5. AM難聴取・災害対策のためのFM補完放送を受信できる
FMワイドバンド/AMチューナー
6. スマホ/タブレットによる快適操作が楽しめる「AV CONTROLLER」と、
確実な配線・設定作業をサポートする「AV SETUP GUIDE」、
ふたつの専用アプリを用意



<RX-V579 主な特長>

1. HDCP2.2、および 4K/60p 映像信号に対応した 6 入力/1 出力の HDMI 端子

最新の著作権保護技術である HDCP2.2、および 4K/60p(YCbCr 4:2:0)映像信号の伝送(パススルー)に対応した 6 入力/1 出力の HDMI 端子*1 を装備するなど、話題の 4K 映像への対応力を強化。加えて、お手持ちのテレビと本機とを HDMI ケーブル 1 本で接続できるオーディオリターンチャンネル(ARC)、主要メーカー製テレビ/レコーダーとのリンク機能*2 にも対応し、設置や操作も簡単に行えます。

*1:HDCP2.2 に対応した HDMI 端子は 1 入力/1 出力です。

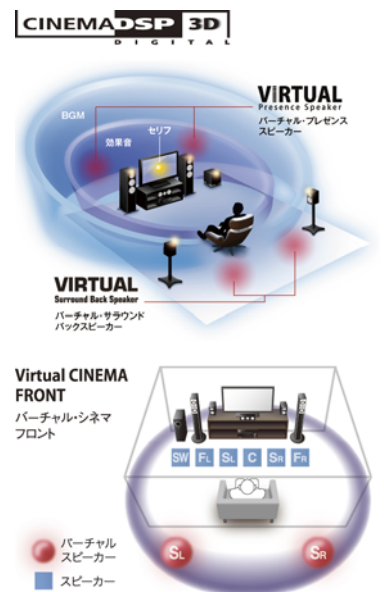
*2:HDMI によるリンク機能(HDMI コントロール)は、本機~対応テレビ(レコーダー)間を HDMI 接続した場合に実現するものです。対応テレビ機種などの詳細は当社ホームページでご確認ください。

http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/connect/hdmi_cec/



2. 新開発オリジナルコンデンサーなどの投入による高音質設計と、最大 9.1ch 相当の臨場感を身近にする独自のバーチャルサラウンド技術

フロントバイアンプ接続にも対応した定格出力 115W/ch(6Ω)のディスクリート構成 7ch パワーアンプ、パーブラウン 192kHz/24bit D/A コンバーター、外部デジタル入力のジッターを軽減して信号精度を高めるロージッターPLL 回路などを採用するとともに、電源系からのノイズ除去能力を約 40%(当社比)改善して原音に忠実な音の再現力を追求した新開発の高音質コンデンサー(ルビコン社と共同開発)などのヤマハオリジナルパーツを投入。Blu-ray Disc の HD オーディオコンテンツやハイレゾ音源も余裕をもって再生します。いっぽう、ヤマハ独自の音場創生技術「シネマ DSP」には、立体的な臨場感の決め手となる仮想のプレゼンスピーカーをリスニング空間に生成する「バーチャル・プレゼンスピーカー」機能に加えて、仮想のサラウンドバックスピーカーを生成する「バーチャル・サラウンドバックスピーカー」機能を新たに装備。通常の 5.1ch スピーカー構成で最大 9.1ch 相当のシネマ DSP(3D モード)再生が楽しめます。さらに、メイン(フロント)スピーカーとサラウンド(リア)スピーカーを前方に並べて置くだけで臨場感あふれる 5.1ch サラウンド再生が楽しめるバーチャルサラウンド技術、「バーチャル・シネマフロント」にも対応しています。



3. DSD 5.6MHz、AIFF 192kHz/24bit に対応し、新世代ネットワークモジュールで音質も向上したハイレゾ再生機能(内蔵 Wi-Fi による無線 LAN 接続も選択可能)

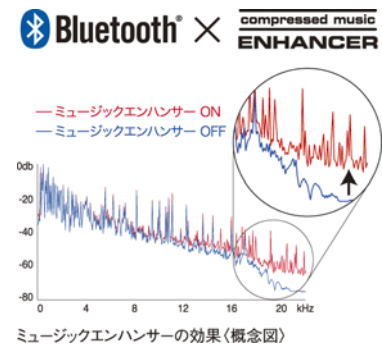
ネットワークオーディオ部は WAV/FLAC 192kHz/24bit 再生、Apple Lossless 96kHz/24bit 再生に加えて、新たに DSD 5.6MHz 再生および AIFF 192kHz/24bit 再生にも対応。高精度ジッター低減クロックを内蔵した新世代ヤマハオリジナル・ネットワークモジュールの採用により、クリアで高品位なハイレゾ音源再生が楽しめます。また、本機には家庭内ネットワークへ無線接続できる Wi-Fi 機能(IEEE802.11b/g/n 準拠)も内蔵し、ハイレゾ音源を含むネットワーク上の音楽コンテンツやインターネットラジオの再生、ヤマハ AV アンプ専用アプリケーション「AV CONTROLLER」でのワイヤレス操作などを有線ネットワーク接続なしで実現。さらに、無線 LAN 環境のない場所でスマートフォン/タブレット内の音楽コンテンツをワイヤレス再生したり、「AV CONTROLLER」での操作などが手軽に行える「Wireless Direct」*も内蔵しています。

* :Wireless Direct を Wi-Fi または有線 LAN 接続と同時使用することはできません。



4. スマートフォンなどからワイヤレス再生できる Bluetooth®オーディオ機能を内蔵、専用に新開発したミュージックエンハンサーを搭載

お手持ちの Bluetooth®対応スマートフォンやタブレット、携帯音楽プレーヤーなどの音声をワイヤレス再生できる AAC 対応 Bluetooth®オーディオ機能を内蔵しました。圧縮音声をより豊かなサウンドで再生するヤマハ独自の音質改善技術「ミュージックエンハンサー」も新たに Bluetooth®再生に対応し、これと組み合わせることにより、圧縮音声で失われがちな高音域の情報量や低音域の明瞭感を効果的に補正。クリアで奥行き感のある音質が楽しめます。



5. AM 難聴取・災害対策のための FM 補完放送を受信できる FM ワイドバンド/AM チューナー

都市部における AM 放送の難聴取対策や災害対策などを目的に、旧アナログテレビ放送の放送帯域の一部(V-Low 帯域)を利用して既存の AM 放送を FM 帯域で同時放送する「FM 補完放送」が一部地域で開始されました。本機には、その FM 補完放送の放送帯域(90.1~94.9MHz)を含む広範囲を受信できる FM ワイドバンド/AM チューナーを搭載。FM/AM 合わせて 40 局のプリセット機能も装備し、ノイズや電波障害により AM 放送が受信しにくい地域でも AM 局の放送番組を FM 補完放送で快適に聴取できます*。

* :FM 補完放送は 2014 年末以降、日本国内各地の AM 放送局の一部で運用が開始され、今後も順次拡大が見込まれています。運用開始時期や放送周波数、FM 補完中継局の所在地などに関する詳細は各 AM 放送局にお問い合わせください。

6. スマホ/タブレットによる快適操作が楽しめる「AV CONTROLLER」と、 確実な配線・設定作業をサポートする「AV SETUP GUIDE」 ふたつの専用アプリを用意



お手持ちのスマートフォンやタブレットを使って本機の基本操作や設定などを快適に楽しめる「AV CONTROLLER」、本機と周辺機器との接続や機能設定・調整作業を丁寧にガイドする「AV SETUP GUIDE」(タブレット専用)、ふたつのヤマハ AV レシーバー用アプリケーションを用意。ご購入時のセットアップから毎日の鑑賞まで、ヤマハユーザーの皆様のシアターライフを強力にバックアップします。



「AV SETUP GUIDE」の操作画面例

【RX-V479 主な特長】

1. HDCP2.2、および 4K/60p 映像信号に対応した 6 入力/1 出力の HDMI 端子
※HDCP2.2 に対応した HDMI 端子は 1 入力/1 出力です。
2. シネマ DSP<3D モード>の立体的臨場感を 5.1ch スピーカー構成で実現する
「バーチャル・プレゼンスピーカー」機能装備の 5.1ch モデル
3. DSD 5.6MHz、AIFF 192kHz/24bit に対応し、新世代ネットワークモジュールで
音質も向上したハイレゾ再生機能(内蔵 Wi-Fi による無線 LAN 接続も選択可能)
4. スマートフォンなどからワイヤレス再生できる Bluetooth®オーディオ機能を内蔵、専用に新開発した
ミュージックエンハンサーを搭載
5. AM 難聴取・災害対策のための FM 補完放送を受信できる FM ワイドバンド/AM チューナー
6. スマホ/タブレットによる快適操作が楽しめる「AV CONTROLLER」と、確実な配線・設定作業をサポートする
「AV SETUP GUIDE」、ふたつの専用アプリを用意

【RX-V579/RX-V479 その他の特長・機能】●ネットワークオーディオ再生時に気になる曲間の途切れを解消するギャップレス再生
●お気に入りのインターネットラジオ局をストレスなく呼び出せるvTunerブックマーク&オートプレイに対応したインターネットラジオ機能
●コンパクトスピーカーの音に重低音の力感や躍動感をプラスするExtra Bass●iPhone/iPod対応・前面USB端子●再生音量に応じてDSP効果を自動調整し、常に最適な臨場感が得られるA-DSP技術●入力ソースやボリューム位置に合わせてダイナミックレンジを自動調整し、小音量再生時にも明瞭なサウンドが楽しめるA-DRC技術●部屋に合わせた最適な音響特性が自動的に得られるYPAO(Yamaha Parametric Room Acoustic Optimizer)●使用頻度の高いボタンをより大きくし、使いやすいボタン配列にもこだわった新デザインのワイヤレスリモコン●あらかじめ設定した映像ソースと音場プログラムの組み合わせを呼び出したり、テレビやレコーダーを連動して起動できるSCENE(シーン)機能●接続した機器や入力信号に応じて自動的に入力名を生成するオートリネーム機能●別室などに置いたスピーカーも鳴らせるZone B対応(RX-V579のみ)●オートリップシンク●日本語を含む多言語対応OSD(オンスクリーン・ディスプレイ)●WPS(プッシュボタン/PINコード)またはiOS設定共有により無線LANを簡単設定●ECOモード、オートスタンバイ機能、インプットスタンバイセレクトなどにより業界最高水準の省電力を実現

【RX-V579/RX-V479 主な仕様】

型番		RX-V579	RX-V479
定格出力	20Hz-20kHz、2ch 駆動	80W/ch (6Ω、0.09%THD)	
	1kHz、1ch 駆動	115W/ch (6Ω、0.9%THD)	
実用最大出力 (JEITA)	1kHz、1ch 駆動	135W/ch (6Ω、10%THD)	
内蔵パワーアンプ数		7	5
音声入力	アナログ	4 系統 : ステレオ RCA 3、ステレオミニ 1	
	デジタル	3 系統 : 光 1、同軸 2	
音声入力(その他)		3 系統 : USB 1、ネットワーク(Ethernet) 1、 ネットワーク(Wireless) 1	
映像入力		6 系統 : コンポーネント 2、コンポジット 4	4 系統 : コンポジット 4
音声出力	スピーカー出力	7ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R、 サラウンドバックL/R (ZoneB、Bi-Amp 兼用))	5ch (フロントL/R、センター、サラウンドL/R)
	プリアウト出力	サブウーファー(MONO)×2	サブウーファー(MONO)×1
	その他出力	1 系統 : ヘッドホン 1	
映像出力	モニター出力	2 系統 : コンポーネント 1、コンポジット 1	1 系統 : コンポジット 1
HDMI 入力		6 (HDMI 6 は HDCP2.2 に対応)	
HDMI 出力		1 (HDCP2.2 に対応)	
Bluetooth® 再生方式	バージョン	Ver.2.1+EDR	
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP	
	対応コーデック	SBC、AAC	
	ワイヤレス出力	Bluetooth Class2	
	最大通信距離	10m (障害物のない見通し距離)	
総サラウンドプログラム数		38 (シネマ DSP プログラム数は 17)	33 (シネマ DSP プログラム数は 17)
消費電力		260W	
待機時 消費電力	すべて OFF 時	0.1W	
	HDMIコントロール ON、 スタンバイスルー ON 時	1.6W	
	ネットワークスタンバイ ON 時	Wired : スタンバイスルー OFF 時 1.9W / スタンバイスルー ON 時 3.1W Wi-Fi : スタンバイスルー OFF 時 1.9W / スタンバイスルー ON 時 2.8W Wireless Direct : スタンバイスルー OFF 時 2.0W / スタンバイスルー ON 時 3.1W	
	Bluetooth®スタンバイ ON 時	スタンバイスルー OFF 時 2.0W / スタンバイスルー ON 時 3.1W	
寸法(幅×高さ×奥行)		435W×161H×327D mm (Wi-Fi アンテナ直立時 : 435W×221H×327D mm)	
質量		8.1kg	
付属品		リモコン、単 4 乾電池(2 本)、AM アンテナ、FM アンテナ、 YPAO 用マイク、かんたん設置ガイド	



ヤマハ AV レシーバー 『RX-V579』 カラー:(B)ブラック
 本体価格 72,000 円(税抜)



アンテナ装着イメージ(リア)

アンテナは設置環境に応じて、
 角度を変えることができます。
 (取り外しも可能)

※RX-V579 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー 『RX-V579』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v579_black_j/



ヤマハ AVレシーバー『RX-V479』 カラー:(B)ブラック
本体価格 61,000 円(税抜)

※RX-V479 の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

【製品情報】

ヤマハ AVレシーバー『RX-V479』 http://jp.yamaha.com/products/audio-visual/av-amplifiers/rx-v479_black_j/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 宣伝・ブランドマネジメントグループ

窪井、千葉

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6605

FAX 03-5488-5063

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)

■一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン カスタマーサポート部

お客様コミュニケーションセンター

オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1

TEL 0570-011-808 (ナビダイヤル:全国どこからでも市内通話料金)

TEL 053-460-3409 (上記番号でつながらない場合)